

発刊にあたって

今日、産業構造の変化や少子高齢化、グローバル化・情報化の進展など教育を取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちを巡っては体力や学力の低下、生活リズムの乱れなど、多くの課題が生じており、北海道教育委員会としては学校教育と社会教育を車の両輪と位置付けながら、全力でその解決に向けた取り組みを進めております。

このような状況を踏まえ、道内 7 か所に設置している青少年教育施設におきましても、平成 21 年度から基本的な生活習慣や運動習慣の定着などを目指した試行的なプログラム（パイロットプログラム）を実施しており、この度、平成 23 年度の報告書を取りまとめました。

本報告書では、国立青少年教育振興機構が開発した「子どもたちの生きる力を測定する調査票」（IKR 調査票）や参加者の満足度についてのアンケートを活用して、プログラムの効果や課題などを分析しておりますので、各市町村の社会教育事業に御活用いただき、子どもたちの、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成の一助となれば幸いです。

平成 25 年 2 月

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課長

立 野 賢 次